

平成 23 年 7 月 1 日

【照会先】

医政局国立病院課

企画調整官 河内 和彦

(代表電話)03-5253-1111

(内線 2610)

## 戸山5号宿舍跡地発掘調査結果について

### 1. 概 要

旧陸軍軍医学校の跡地(新宿区戸山)に埋められたとされる人骨について、その有無を確認するため、諸準備及び事前調査(試掘)を経て4月21日から行ってきた発掘調査が6月30日に終了し、その結果、人骨は確認されなかったものである。

### 2. 調査内容

#### (1) 調査期間

平成23年2月8日～平成23年6月30日

#### (2) 場所及び対象面積

場所：東京都新宿区戸山3-2-4

面積：3,049.83㎡

#### (3) 調査方法

①試掘 5ヶ所を試掘し、地層・深度を確認

②本調査 地層(地質)を見極められる調査員を常時2名配置し、  
全範囲を1.5m～5m程度、重機及び人力で地層を確認  
しながら掘削

### 3. 出土物

(1) 江戸時代の物と患われる陶器

(2) 明治から昭和時代の物と思われる陶器

(3) 旧陸軍若しくは旧陸軍軍医学校で使用されていたと思われる陶器

(4) 明治から昭和時代の物と思われる建物の基礎、瓦礫及びコンクリート片

### 4. 今後について

当該地は、国有財産の普通財産であり、今後厚生労働省として使用する予定がないため、所用の手続きを経て財務省に引き継ぐことになる。

(参考) これまでの経緯

1. 平成元年（1989 年）7 月、戸山研究庁舎（現国立感染症研究所）の建設工事中に、土中から少なくとも 62 体の人骨が発見された。
2. これを受けて、厚生労働省（当時厚生省）は、土地の管理者としての立場から旧陸軍軍医学校関係者に対する聞き取り調査等を実施。平成 13 年に、当該人骨は、軍医学校にあった標本類又は標本作製用などに集められた死体の一部であると推測されるが、確証を得られず、第 7 3 1 部隊との関連を含め明らかにできなかった、とした調査結果をまとめた。
3. 平成 18 年 6 月、旧陸軍軍医学校の元看護師から「国立国際医療センター宿舎が所在する近辺に人骨を埋めた」との新たな証言があり、当時の厚生労働大臣が調査を約束した。
4. 平成 22 年 3 月末までに、前国立国際医療センター宿舎（公務員宿舎）に入居している職員の退居を完了した。
5. 平成 22 年度予算に宿舎の解体撤去費及び発掘調査費を計上し、宿舎は同年 11 月に解体工事を終了した。
6. 発掘調査については、平成 23 年 2 月 7 日（月）に一般競争入札により発掘事業者が決定（契約締結）し、諸準備を経て 2 月 2 1 日（月）から試掘調査を開始した。
7. 4 月 2 1 日（木）に発掘調査（本調査）を開始し、6 月 3 0 日（木）に終了。